

# 知・技の創造

ものづくり大学発

&gt;40&lt;

2018年 11月2日 金曜日  
(平成30年)

## きょうは何の日

男子ゴルフ、石川遼が17歳1カ月でプロ転向後初のツアーチャンピオン(2008年)

P 埼玉新聞社 〒331-8686さいたま市北区吉野町2-282-3  
本社代表 048-795-9930

## 岡田公彦 建設学科准教授



おかだ・きみひこ 建設学科准教授。1971年神奈川県生まれ。97年明治大学理工学部建築学科卒業。西沢立衛建築設計事務所勤務を経て、2005年に岡田公彦建築設計事務所を設立。17年より現職。

おでこに「待庵」という筆名がある。木のつくり大学では、六本木ヒルズ・森美術館15周年記念として開催された「建築」展を覗いて感動しました。薄暗い室内に生きてきた日本人固有の世界を感じます。そこで、その遺伝子のもとおいて、薄い障子紙や気泡を

度分解、その後展示室内で再び建て方を行い、土壁を塗るという工程で制作しました。

2005年に岡田公彦建築設計事務所を設立。17年より現職。

■「伊勢神宮」の永続性 18年は日仏友好160周年でしよう。自然を敬い、共に京都で現地調査を行い、それ

で

研究室では展覧会の出展物を題材に、社殿を新たに造営し、旧殿から神体を移す工程で制作しました。神事があり、1300年にわたり繰り返されています。

伊勢神宮には式年遷宮と呼ばれる20年ごとに社殿を新に造営し、旧殿から神体を移す工程で制作しました。神事が開催され、パリの中心に位置する

ヤード邸において「深みへ」と日本との美意識を求めて」

19世紀に建てられた旧ロスチ

ーのよつな昔ながらの文化

が、日本においては現代建築

ヤード邸において「深みへ」

や考え方を多くの先進国で失われつつある状況にあります

が、日本においては現代建築

ヤード邸において「深みへ」

研究室では展覧会の出展物を題材に、社殿を新たに造営し、旧殿から神体を移す工程で制作しました。神事が開催され、パリの中心に位置する

で

研究室では展覧会の出展物を題材に、社殿を新たに造営し、旧殿から神体を移す工程で制作しました。神事が開催され、パリの中心に位置する

研究室では展覧会の出展物を題材に、社殿を新たに造営し、旧殿から神体を移す工程で制作しました。神事が開催され、パリの中心に位置する

研究室では展覧会の出展物を題材に、社殿を新たに造営し、旧殿から神体を移す工程で制作しました。神事が開催され、パリの中心に位置する

研究室では展覧会の出展物を題材に、社殿を新たに造営し、旧殿から神体を移す工程で制作しました。神事が開催され、パリの中心に位置する

研究室では展覧会の出展物を題材に、社殿を新たに造営し、旧殿から神体を移す工程で制作しました。神事が開催され、パリの中心に位置する

研究室では展覧会の出展物を題材に、社殿を新たに造営し、旧殿から神体を移す工程で制作しました。神事が開催され、パリの中心に位置する

研究室では展覧会の出展物を題材に、社殿を新たに造営し、旧殿から神体を移す工程で制作しました。神事が開催され、パリの中心に位置する

研究室では展覧会の出展物を題材に、社殿を新たに造営し、旧殿から神体を移す工程で制作しました。神事が開催され、パリの中心に位置する

研究室では展覧会の出展物を題材に、社殿を新たに造営し、旧殿から神体を移す工程で制作しました。神事が開催され、パリの中心に位置する

2020年東京オリンピックをはじめ、国際的スポーツ大会が開催される」とかかり、学生・教職員総勢約50人で国宝「待庵」の原寸模型を制作つてきています。中でも、日本建築はその固有な価値觀による興味を持たれることが多く、筆者が関係したプロジェクトを通して、その一端をお伝え出来ればと思います。

## ■「待庵」の自然觀

木のつくり大学では、六本木ヒルズ・森美術館15周年記念として開催された「建築」展を覗いて感動します。薄暗い室内に生きてきた日本人固有の世界を踏まえて画面制作。会場で当たり、フランス・パリに宿する精神を重んじる、日本が特有の価値觀があるように